

第32回 東京校歌祭

高校の同窓生が歌う

令和6年 10月27日(日) 開場12時 開演12時20分 杉並公会堂 大ホール (入場無料)



出演校: 小山台 西 第三商業 石神井 竹早 両国 千歳 小松川 足立西
文京 新宿 武蔵丘 墨田川 江北 豊多摩 白鷗 第一商業 立川 九段

主催: 東京校歌振興会 **後援:** 東京都 杉並区教育委員会

第32回東京校歌祭プログラム

令和6年 10月27日(日) 杉並公会堂 大ホール

開会式 12:20

◆各校入場

◆会長挨拶 杉本安弘 (東京校歌振興会 会長)

◆開会宣言 清澤健一 (東京校歌祭 実行委員長)

校歌披露 12:30

*出演時間は、ずれが生じる場合がありますので、ご了承ください。

出演順	時 刻	出 演 校 名	備 考
①	12:30	都立小山台高等学校	八中校歌・Stand Alone・小山台高校校歌 ・文化祭寄贈歌
②	12:40	都立西高等学校	西高校校歌・学友歌
③	12:50	都立第三商業高等学校	校歌・応援歌
④	13:00	都立石神井高等学校	石神井高校校歌・十四中校歌・石神井応援歌
⑤	13:10	都立竹早高等学校	府立第二高等女学校校歌・都立竹早高等学校校歌 ・若い広場
⑥	13:20	都立両国高等学校	校歌・卒業式の歌・早春賦
⑦	13:30	都立千歳高等学校	健児の歌・都立千歳高等学校校歌・ちいさい秋みつけた
⑧	13:40	都立小松川高等学校	府立第七高等女学校校歌・都立小松川高等学校校歌
⑨	13:50	都立足立西高等学校	足立西高校校歌 翼をください
	14:00	休憩 来賓挨拶・祝電披露	
⑩	14:10	都立文京高等学校	三中校歌・文京高校校歌・生徒歌
⑪	14:20	都立新宿高等学校	六中校歌・新宿高校校歌・健児の歌
⑫	14:30	都立武蔵丘高等学校	武蔵丘高校校歌・武蔵中学校校歌 ・翼をください
⑬	14:40	都立墨田川高等学校	七高応援歌・花・墨田川(七中)校歌
⑭	14:50	都立江北高等学校	江北高校校歌・明日があるさ(替え歌)
⑮	15:00	都立豊多摩高等学校	校歌・豊多摩の健児我等
⑯	15:10	都立白鷗高等学校	府立第一高等女学校校歌・都立白鷗高等学校校歌 ・白鷗応援歌
⑰	15:20	都立第一商業高等学校	都立第一商業高等学校校歌・一商学生歌「ああ一商」
⑱	15:30	都立立川高等学校	都立立川高校校歌(府立二中校歌) ・都立立川高校(府立二中)第二校歌
⑲	15:40	千代田区立九段中等教育学校	校歌・至大荘歌・至大荘と共に

閉会式 15:50

◆全員合唱「仰げば尊し」

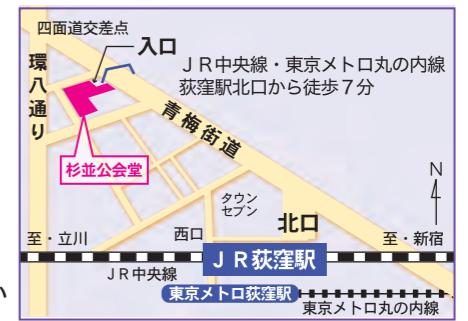
◆閉会の辞 松田 健 (東京校歌祭副実行委員長)

◆司会者 佐藤 美紗子 大森 美樹

主催 東京校歌振興会 後援 東京都 杉並区教育委員会



会場案内図



31回閉会式 (プラスバンド小山台)

♪次回(第33回)もお楽しみに!

令和7年10月26日(日)

杉並公会堂

*車での来場はご遠慮ください



社会の基礎に不可欠な素材、生コンクリート
人のくらしを支える、社会のしくみを支える
土台の土台に、私たちは常に向き合っています



 山一興産株式会社

代表取締役社長 柳内 光子



アルテリーベ東京



アルテリーベ東京はミュージックライブを行うクラシック声楽レストランです。クラシックや日本の歌を歌う声楽曲の他にオペラやオペレッタ、器楽曲も演奏しています。ドイツ直輸入のビールやイタリアワインで贅沢なひとときをご堪能下さい。結婚式の2次会等貸切利用も可能です。



クラシックミュージックレストラン
 アルテリーベTOKYO
 〒105-0004 東京都港区新橋2-12-5 池伝ビルB1
 TEL 03-3519-7007 FAX 03-3519-7050
 ■JR山手線「新橋駅」日比谷口 ■地下鉄銀座線「新橋駅」8番出口
 ■都営地下鉄三田線「内幸町駅」A1出口

営業時間：17時～22時（ラストオーダー21時）
 定休日：火曜日

アルテリーベの会 弁護士 中城剛志（小山台高30回卒）
 メゾソプラノ 田辺いづみ（西高卒）



アルテリーベ東京Facebook ページはこちら→
<https://www.facebook.com/alteliebetokyo>

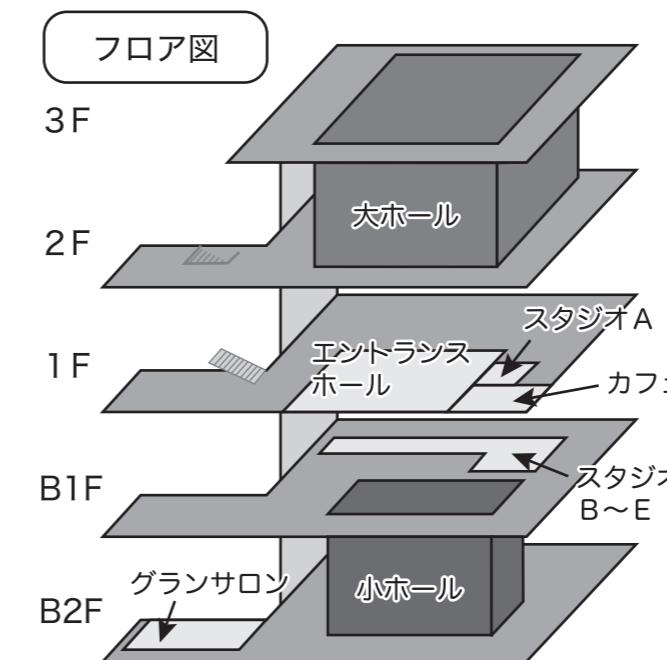


杉並公会堂案内図



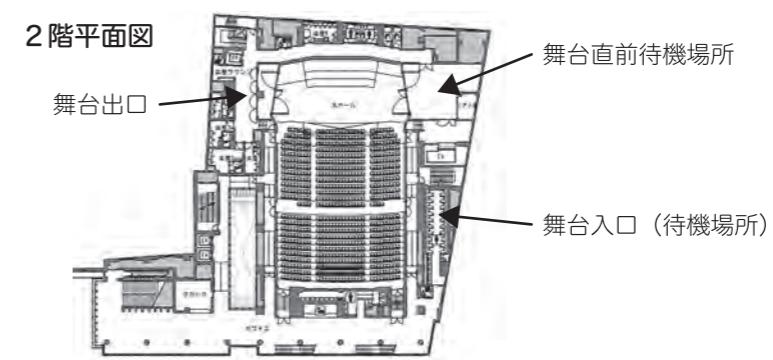
東京校歌祭開会式

趣 意



3階	観客席入口
2階	大ホール、観客席入口、各校受付、舞台入口
1階	入口、スタジオ A
地下1階	スタジオ C、スタジオ D
地下2階	小ホール、グランサロン

- *一般・各校の受付は2階ホールです。
- *リハーサル室は各校指定されています。
- *荷物は各校各自で保管してください。
- *大ホール座席は学校別に指定しています。
- *多くの学校の校歌を聞いてください。



第32回 プログラム 編集後記

今回足立西高校同窓会がホームページをみて参加したいと連絡があり、今年の参加に間に合い19校になりました。昭和49年から生徒を迎えた学校です。都内には公立高校186校、私立高校240校あるそうです。1割に満たない19校の学校しか校歌祭に参加していないと思うと、さらなる宣伝の強化が必要です。各校一ページの記事も有意義に使って参加校が増えることに繋がることに期待します。今回昨年より4ページ増やした分、東京校歌祭の20年から関連の記事を載せました。
(清澤健一)

第32回東京校歌祭プログラム

編集・表紙デザイン:清澤健一(墨田川)
協力:嶋林真奈美(豊多摩)
発行人:東京校歌振興会
〒168-0082 杉並区久我山4-12-10

32回も医務担当します。

鈴木淳子(小石川)



十中校歌

作詞 加藤 司書	作曲 福井 直秋
----------	----------

西高校校歌

作詞 清水 重道	作曲 信時 潔
----------	---------

学友歌

作詞 高橋 宗近 (十中四期)	作曲 大中 恩 (十中一期)
--------------------	-------------------

皇御国のもののみは

うるはしく研ぎ造らむ
あきらけく掲げ示さむ
いかなることをかつとむべき

ただ身に持てる真心を

明日の世を起すわれらが
ゆるがざる志操のかがみ
ああ まどか
富士をそがひに
わが誠意著きやさしさ

君と親とにつくすまで

たゆみなく究め掬ばむ
かぎりなく求め悉さむ
明日の世を築くわれらが
あふれくる窮理のいづみ
ああ はるか
多摩に水脈継ぎ
わが智慧の深きゆたけさ
たくましく鍛へ競はむ
ほこらしく讃え謳はむ
明日の世を荷うわれらが
ほとばしる生命のいぶき
ああ さやか
梅が香ぞして
わが体力 若きあかるき

世界は広しわが世界

閉ざさるる窓を叩くは
われらが努め
輝けよ若き太陽
真と美の希に眼覚め
われら光の子とならん
よしたとえ死の谷影を
渡るとも
おお栄光よあれ
われらの都立西高校

おお栄光よあれ

清き血に
先人のいまだ褪せざる

東京校歌祭 32年の歩み 1

出版部—コスト下げに終始 (20年史より抜粋)

小石川高校 寺門 克

校歌の歌詞を載せたプログラム（パンフレットとも呼んだ）を主に造る編集の仕事で初めて出席した実行委員会（第二回準備委員会）に出席したときは、ほぼ決まっていたように記憶する。もしかすると、神津さんが企画した母校の70年史の編集を担当したのが私だったから、それが神津さんから漏れたのかもしれない。

最初は単に歌詞の原稿を集めて、校歌祭の運営を委託していた五光の担当者に渡し、ゲラの校正をするだけという仕事だった。

第1回の校歌祭が大赤字で終わつた上、五光が倒産したこともあって、第2回校歌祭はコストの削減を図るため、手作りで運営することになった。第一回のプログラムの制作費は125万円（2500部）。これを75万円前後に抑えることになり、小石川同期生が社長の創林社に制作を委託した。

割付、レイアウトなどは時間と手間をかければ私自身でも可能だったが、それをあえて創林社に任せたのには、理由がある。たまたま担当となつた私はできるが、私かそれをやつてしまふと、私の次に担当する人に簡単に引き継げなくなつてしまふ。

一番の方策は「世代交代」だと思う。校歌祭の運営組織自体の「若返り」を叫んで久しいが、なかなかその実はあがらない。そこで、「隕より始めよ」で出版部の担当を後輩の世代に、第18回を終えた段階で、バトンタッチを行つた。第19回、第20回は助走期間、これから真価を発揮してもらえると期待している。

もしかすると、プログラムから校歌集としての性格を消して、A4版一枚の単なる各校の出番表にしてしまつてもいいということになるかも知れない。校歌集はCD付で別に制作し、有料で販売してもいいのだ。

概ね、出版部に対する苦情はなかつたが、回を重ね、参加校の増加に伴い刷部数が増え、制作費がかさむようになると、印刷会社の見積もりを取つてきて、もっと制作費は落とせるはずだという指摘が何度かあつた。たとえば、パソコンでやれる人が自分で編集すれば、フロッピーディスクを印刷会社に渡すだけでよく、費用は激減するという。確かに印刷だけを外注すれば安くなる。だが担当者に負担が掛かりすぎることになるし、これも跡継ぎの問題があると考えた。

その後、参加校が減少し財政が逼迫しはじめたのを機に、プログラムの部数削減、多色（4色）刷からモノクロへの切り替えなど、コストを抑える工夫を加え、第18回にはチラシの印刷もひかえて、プログラム制作費を50万円以下にまで、圧縮した。これ以上制作費を切り詰めるにはどうするかとなると、抜本的な改革が求められる。

一番の方策は「世代交代」だと思う。校歌祭の運営組織自体の「若返り」を叫んで久しいが、なかなかその実はあがらない。そこで、「隕より始めよ」で出版部の担当を後輩の世代に、第18回を終えた段階で、バトンタッチを行つた。第19回、第20回は助走期間、これから真価を発揮してもらえると期待している。

もしかすると、プログラムから校歌集としての性格を消して、A4版一枚の単なる各校の出番表にしてしまつてもいいということになるかも知れない。校歌集はCD付で別に制作し、有料で販売してもいいのだ。

出版部—コスト下げに終始 (20年史より抜粋)

小石川高校 寺門 克



校歌の歌詞を載せたプログラム（パンフレットとも呼んだ）を主に造る編集の仕事で初めて出席した実行委員会（第二回準備委員会）に出席したときは、ほぼ決まっていたように記憶する。もしかすると、神津さんが企画した母校の70年史の編集を担当したのが私だったから、それが神津さんから漏れたのかもしれない。

ある。

私がその担当をすることになったのは、物書きになるまえに一時編集者であつたことを誰かが知つていたのか、あるいは物書きと編集・出版とを同一視する人のおかげか、初めて出席した実行委員会（第二回準備委員会）に出席したときは、ほぼ決まっていたように記憶する。もしかすると、神津さんが企画した母校の70年史の編集を担当したのが私だったから、それが神津さんから漏れたのかもしれない。

最初は単に歌詞の原稿を集め、校歌祭の運営を委託していた五光の担当者に渡し、ゲラの校正をするだけという仕事だった。

第1回の校歌祭が大赤字で終わつた上、五光が倒産したこともあって、第2回校歌祭はコストの削減を図るため、手作りで運営することになった。第一回のプログラムの制作費は125万円（2500部）。これを75万円前後に抑えることになり、小石川同期生が社長の創林社に制作を委託した。

割付、レイアウトなどは時間と手間をかければ私自身でも可能だったが、それをあえて創林社に任せたのには、理由がある。たまたま担当となつた私はできるが、私かそれをやつてしまふと、私の次に担当する人に簡単に引き継げなくなつてしまふ。

次の人ができるとは限らない。できる人を探さなくてはならない。

い。

概ね、出版部に対する苦情はなかつたが、回を重ね、参加校の増加に伴い刷部数が増え、制作費がかさむようになると、印刷会社の見積もりを取つてきて、もっと制作費は落とせるはずだという指摘が何度かあつた。たとえば、パソコンでやれる人が自分で編集すれば、フロッピーディスクを印刷会社に渡すだけでよく、費用は激減するという。確かに印刷だけを外注すれば安くなる。だが担当者に負担が掛かりすぎることになるし、これも跡継ぎの問題があると考えた。

その後、参加校が減少し財政が逼迫しはじめたのを機に、プログラムの部数削減、多色（4色）刷からモノクロへの切り替えなど、コストを抑える工夫を加え、第18回にはチラシの印刷もひかえて、プログラム制作費を50万円以下にまで、圧縮した。これ以上制作費を切り詰めるにはどうするかとなると、抜本的な改革が求められる。

一番の方策は「世代交代」だと思う。校歌祭の運営組織自体の「若返り」を叫んで久しいが、なかなかその実はあがらない。そこで、「隕より始めよ」で出版部の担当を後輩の世代に、第18回を終えた段階で、バトンタッチを行つた。第19回、第20回は助走期間、これから真価を発揮してもらえると期待している。

もしかすると、プログラムから校歌集としての性格を消して、A4版一枚の単なる各校の出番表にしてしまつてもいいということになるかも知れない。校歌集はCD付で別に制作し、有料で販売してもいいのだ。



九段中等教育学校

至大

第一東京市立中学校 東京都立九段中学校 東京都立九段高等学校 千代田区立九段中等教育学校

至剛

都の中央 九段の上に
堂々 高きを占めて
われらはここに学ぶ

校歌 作詞：与謝野鉄幹
作曲：山田耕作

2024年
創立100周年を迎えた

(同窓会) 菊友会
〒102-0073 東京都千代田区九段北2-2-1
千代田区立九段中等教育学校内
TEL : 03-3263-2448 FAX : 03-3263-1033
E-mail : info@kikuyukai.com
URL : <https://www.kikuyukai.com/>



校
歌

作詞 前田 夕暮
作曲 山田 耕策

應援歌

作詞 多田 宏
作曲 池内友次郎

沿
革

昭和3年1月 東京府立第三商業学校として設立
昭和8年3月 校歌制定

都の空は明けたり、今
希望は燃ゆる若きわれら
都立第三商業、ここに拠るや
日本の富を担ふわれら

富岳の雪を望む窓辺
理想は高し、若きわれら
都立第三商業、ここに居るや
都の榮えを築くわれら

東都の海の門にありて
心は潤し、若きわれら
都立第三商業、ここに立つや
江戸の誇りを継げるわれら

勝算すでに吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商
聞け、三商の底ぢから
歴史が語るその誉れ
受け継ぎきたる若人の
命の誇り吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商
見よ、三商の鉄の陣
T・C・Sの旗の下
正義に結ぶ和のこころ
明るく強き若人の
凱歌はすでに吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商





石神井高校校歌

緑なす ここよ武藏野
萌え出づる 敏智の園生
若き子の 望みは高く
誠もて 真理を窮む
これぞ理想 われらが希求

梅にほふ 学びの庭に
すがすがし 大気のかおり
かぎりなき 真澄の空に
あふぎみる 富士の高嶺よ
これぞ誇り われらが象徴

さんらんと 自由の光
みちあふる 文化の泉
おお石神井 われらが母校
新しき 世紀の朝に
これぞ誓ひ われらが生命

十四中校歌

作詞 高田
作曲 渡部
補作曲 渡部
和声 精一 久壽

涼涼と
湧きてぞ流る、三千年
武藏が原に清明の
泉掬びてみそぎつつ
御稜威み劫劫と
わが石神井に正氣満つ

芳春に
いで魁けん白梅の
若き力に瞳あげ
狂瀾の潮路敢然と
使命は重し今ぞ起つ

自然の王者 武藏野の
大地に育つ 石神井の
我らは健児 日頃の技を
いざや示さん 力の限り
石神井 石神井 オー
我らが母校

十四中校歌

作詞 吉木
作曲 岩本
作曲 岩本
作詞 利光
作曲 政蔵

石神井応援歌

気高き荒野 武藏野の
大地に育つ 石神井の
我らは健児 誇りは高し
いざや示さん 栄えある力
石神井 石神井 オー
我らが母校



都立第一商業高等学校同窓会 一商鉢山会

大正7年、東京府豊玉郡渋谷町に東京府立商業学校として創立
同9年、東京府立第一商業学校と改称
同11年、学科課程に露西亞語、中華民国語を設置、外国人による授業を始める
昭和7年、東京市域拡大のため、東京市渋谷区鉢山村43番地となる
同18年、都制実施により東京都立第一商業学校と改称
同23年、東京都立第一商業新制高等学校として設置
同25年、東京都立第一商業高等学校と改称、現在に至る
平成30年、創立100周年を迎えた

[同窓会事務局]
150-0031 東京都渋谷区桜丘町29-35 ヴィラ桜ヶ丘605号
TEL 03-6455-3731 E-Mail info@isshou.jp HP http://www.isshou.jp/
[会長] 浅野 勝美



都立豊多摩高：府立十三中





校名のいわれ：その昔杉並、中野、渋谷の全域と、新宿の一部を「豊多摩郡」と呼んでいた事に由来します。

杉並の閑静な住宅街に囲まれた都内最大級、4万m²の校地で、授業と部活、そして学校行事の完全燃焼を！

都立豊多摩高等学校吹奏楽部 第39回 定期演奏会
2025年3月末開催予定!!

吹奏楽部OB会むしの会 <http://www.mushinokai.com/> 

むしの会吹奏楽団 創団51周年 毎夏演奏会開催! 

 豊多摩高等学校
公式サイト

 豊多摩同窓会
公式サイト

相続税の駆け込み寺

最大の対策は「税理士選び」、これが税額を左右します。



森田税務会計事務所

<http://www.moritax.jp/>

不動産と税務署に強く依頼者に優しい男・森田義男
(税理士・不動産鑑定士)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-6-2 落合ビル4F
TEL: 03-3219-4871 FAX: 03-3219-4872



毎回
校歌祭に
出場して
います。

豊多摩高校吹奏楽部 OB: クラリネット担当

府立第二高等女学校  **都立竹早高等学校** 

府立第二高等女学校校歌

作詞 畠山 健一
作曲 岡野 貞一

一、みいつかしこき 千代田の宮居
国のはづめの 富士の神やま
たなびく雲のはるけく近く
朝夕に仰ぐも尊し
我が学びのや

二、霞める空の 花のさかりも
千里くまなき 月のけしきも
上野はあれど 関田はあれど
あながらに 眺めぞつきせぬ
我が学びのや

三、かかるめでたき 庭ふみならし
むつびかはして 生いたつ我等
精心も技能も いよよ磨きて
もろともに 世にこそ示さめ
女性のかがみ

四、匂う月花 精心も清く
秀でたる山の わざなみなならず
人の師となり 母となりて
まごころに 世にこそ報いめ
みことのまにま

都立竹早高等学校校歌

作詞 木俣 修
作曲 平井康三郎

一、ひまらや杉に 新芽萌えて
窓は明かり 声ははずむ
竹早よ 我がこの高校
真実一路 ここに学びて
幸を呼ばむ たずさへて友と
尽くるなし 篤き微笑
ああ青春に 光あれ

二、朝の空に 風は通ひ
時計台は夢をさそふ
竹早よ わがこの高校
清新滌剝 ここに汗して
理想に生きむ オののがじし高く
築きゆけ 永久の平和
ああ新人に 力あれ

三、茜の雲の 果てに清く
富士が嶺は 影と浮かぶ
竹早よ わがこの高校
共同親和 道を踏まへば
いよよ映えむ かがやける伝統
いさぎよし 三つの春秋
ああ若人に 栄あれ

Pon pon pon:
Pon pon pon:
Pon pon pon:
Pon pon pon:

君の名を呼ぶり シャイなハートがドキドキ
さらば友よ 分から合つた 熱い涙を忘れない
あの日観てた サウンド・オブ・ミュージック
臉閉じれば蘇る
都会の隅で Lonely みんな今頃どうしてる?
たつたひとり 膝を抱え 遠い故郷を思い出す
君の温もりを 忘れずにいたんだ Aah
Pon pon pon:
Pon pon pon:
Pon pon pon:
Pon pon pon:

若い頃の大事な 宝物だけは
ずっとこの胸に 抱きしめて来たつさ Aah
夜の酒場で Lonely あの娘今頃どうしてる?
さなぎは今 蝶になつて きっと誰かの腕の中
若い広場 愉しドラマ 夢膨らむ 青腕の中
肩寄せあい 声合させて 希望に燃える 夢の歌
愛の言葉をりる 熱い吐息をもう一度
恋はエルヴェット イカしたシルエット
さらば愛しい恋人よ 頬を濡らすは涙雨
明日誰かが待つて

若い広場 「ひよっこ」主題歌

作詞・作曲 桑田 佳祐

Pon pon pon:
Pon pon pon:
Pon pon pon:
Pon pon pon:

東京都立第三高等女学校 
東京都立竹早高等学校 

篁会

府立第七高等女学校 都立小松川高等学校

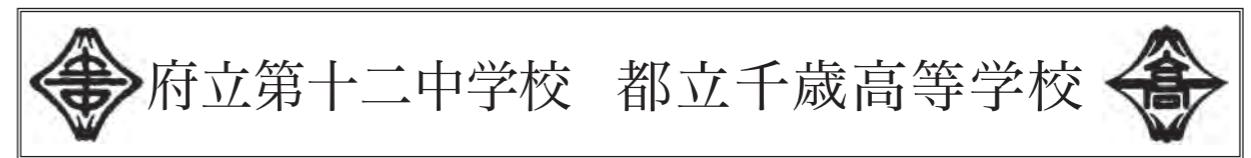
東洋一と謳われた旧校舎

切り絵：41期 馬場 哲弥さん

石庭のある新校舎

都立文京高校吹奏楽部
第40回 定期演奏会
令和7年3月20日(木)
午後5時30分開場
午後6時00分開演 入場無料

- 会場：板橋区立板橋文化会館ホール
東武東上線「大山駅」下車3分
都営三田線「板橋区役所前駅」下車7分
- 問い合わせ：文京高校 tel.03-3910-8231



健児の歌

都立千歳高等学校校歌

ちいさい秋みつけた



作詞 本村 傳吉
作曲 信時 潔

作詞 吉田 一穂
作曲 中田 嘉直

作詞 サトウハチロー
作曲 中田 嘉直

はろばると 目路の限りを
武藏野に 陽は直射して
千歳なる 学びの庭に
丈夫の のぞみあかるし

朝夕に 仰げばたふと
神さびて 白き富士の嶺ね
これやこれ われらが姿
学び舎の 永久の象徴ぞ

わがゆく路に花撒らし
思索の虹のかかるとき
渴ける胸に湧くありて
わが林泉は碧なり

沿革
昭和14年府立第十二中学校として創立。
昭和22年都立千歳高等学校に改称。
平成14年3月最後の卒業式と閉校式。
平成15年4月同地に全日単位制・
都立芦花高校創立される。
令和五年同窓会・誠之会創立八十周年。
現在の会員は一万人五千余。

之誠



府立第七高等女学校 都立小松川高等学校

府立第七高等女学校校歌

作詞 佐佐木信綱 作曲 信時 潔

一 荒川の水は 遠くそびゆ
こころを高く 持つべきをしへ
われらをとめ 明るくきよく
ふみもて行かむ をみんなの道を

わが友よ いざ いざ共に
たゆまずうまず 勉めむさとし
われらをとめ 力のかぎり
いそしみ行かむ まなびの道を

わが友よ いざ いざ共に
あきらけき鏡 松のみどり
胸にぞつくる たふときしるし
われらをとめ みくにをおもひ
進みぞ行かむ ひかりの道を

わが友よ いざ いざ共に
あきらけき鏡 松のみどり
胸にぞつくる たふときしるし
われらをとめ みくにをおもひ
進みぞ行かむ ひかりの道を

二 荒川の水は ゆたに流る
男の子われ
たゆまずうまず 勉めむさとし
われらをとめ 力のかぎり
いそしみ行かむ まなびの道を

三 荒川にひろげし翼 時計台は新しき代の雲をさせり
沫雪の若やる胸たぎち
おのがじし光かざさむ
和らげる世をばまねかむ
あらがねの土にも生きむ
わだつみの果も極めむ

その名いま鳴る鐘の高打つなして
新しき代の雲にひびかふ

新校舎

旧校舎朝礼

**淡交フィルハーモニー管弦楽団
〔都立両国高校OB管弦楽団〕**

第71回定期演奏会

日 時 令和7年(2025年)1月26日(日)
開場:13時30分 開演:14時

会 場 梶舟文化センターホール
指揮 藤本 宏行

曲 目 ドヴォルジャーク:交響曲第8番ト長調 他

入場料 全席自由 1,000円

問合わせ先 淡交フィルハーモニー管弦楽団
団長 岡伸太郎(81回)

<https://tanphil.net/>

東京都立両国高等学校同窓会淡交会




**都立千歳高：府立十二中
同窓会「誠之会」**

令和6年「誠之会」の総会・記念公演・懇親会が、7月20日(土)18時から新装となった、三軒茶屋の世田谷区民会館別館5階三茶しゃれなあとホールで開催されました。いよいよ夏本番という暑さが心配される中でしたが、それでも、100人ほどの方が参加されました。今年も来賓としてお招きした、芦花高校校長の松田晴美先生と芦花高校同窓会長の榎本結花里さんがお越しいただきました。

総会は議事がつづがなく進み、記念公演に移りました。記念講演は、NHK放送博物館長 川村 誠さん(35期)が講演され、軽妙なトークとともにNHKの放送の歴史を話され、聴者は興味深く楽しみながら話を聞くことができました。

講演終了後、会場の形式を改め、懇親会に移りました。懇親会は、コロナ禍前に戻り、バイキング形式で美味しいオードブルと飲み物を持って、音楽やダンスを鑑賞しながら懇親を深める形を取りました。会長・来賓挨拶から乾杯の後、三々五々同期や知人が集い、久々の再会やいつもの仲間との歓談を通して、楽しい一時を過ごしました。

最後に会場全員で旧制中学校歌・千歳高校旧校歌「健児の歌」、千歳高校校歌を高らかに歌い閉会の辞を迎え、会を閉じました。

千歳高校・誠之会は、平成14年に閉校して21年を経ましたが、コロナ禍を除き毎年、総会・記念講演・懇親会の開催のほか、会報の発行、ゴルフ大会、各同期会や部活同窓会、名簿管理、ホームページの管理運営、そして「東京校歌祭」への参加と活発な活動を続けています。

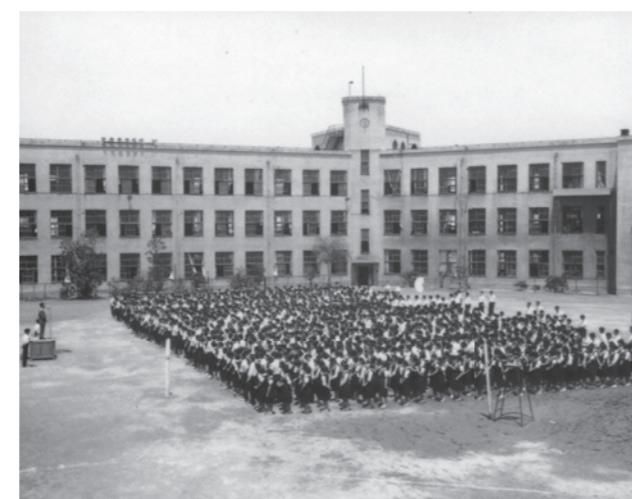
☆誠之会HP:<http://www.chitose-seishikai.jp>

会長:玉田 譲治(26期)





新校舎



旧校舎朝礼

進化する伝統校 石神井

府立第十四中学校 都立石神井高等学校

同窓会提供番組「石神井フォーエバー！」
毎週土曜日 21:00~21:15 FM西東京で好評放送中
都立石神井高校同窓会

都立足立西高等学校

校歌

作詞 加藤道理
作曲 木村 恵子

作詞 村井 邦彦
作曲 山上 路夫

翼をください

一、美しき荒川の碧瀧き流れのほとり創造の燈火かく新しき明日を想ひて
桜咲くこの園に友情のま垣を結はん
永遠に美しく友よ

二、豊かなる荒川の果てもなき流れのほとりわれらいまここに拳りて
ひたぶるに雲映ゆるこの野辺に真理を求む
向上の学舎立てん永遠に豊かなれ友よ

三、壮なる荒川の音高き流れのほとりゆるぎなき富士を望みて
孤立の精神培ふこの陸に風渦ゆる悲しみのない自由な空へ
永遠にたくましくはばたき行かん永遠に壮なれ友よ

一、いま私の願いごとがかなうならば翼がほしいこの背中に鳥のように白い翼つけてください
この大空に翼をひろげ飛んで行きたいよ悲しみのない自由な空へ翼はためかせ行きたい

二、いま富とか名譽ならばいらないけど翼がほしい子どものとき夢みたこと今も同じ夢に見ているこの大空に翼をひろげ飛んで行きたいよ悲しみのない自由な空へ翼はためかせ行きたい



笠原 たかむら

あの日、あの時の私がここにいる
世代を超えた若竹の力

東京都立第二高等女学校同窓会
東京都立竹早高等学校同窓会

府立第二高女創立110周年記念碑
現都立竹早高校正門

(沿革)	昭和49年4月	都立足立高校上沼田分校として設立許可
昭和50年7月	東京都立足立西高等学校と改称し	
令和5年11月	独立、都立深川商業高校内仮校舎で授業を開始	
	現住所に校舎完成	
	創立50周年記念式典挙行	

第三東京市立中学校
都立豊島中学校

都立文京高等学校



三中校歌

作詞 高野辰之
作曲 濑 蘭

豊島が岡の辺 神明の杜に
斎きまつれる 皇大神の
誠を貫け 正しくあれと
導き給ふ 吾等が学び舎
昇る旭日の 明るく強く
正を頼し 邪を打破り
富士の高嶺の 気高く淨く
世に生ひ立たんは 吾等が望み
さやかにほがらに いそしみ励み
滅私奉公 たゞ一筋に
未来の日本 負ひ持つ民と
伸びて果さん 負荷の大任
おう第三東京市立中学校

文京高校校歌

作詞 土岐善磨
作曲 平井康三郎

椎のかげ枝ふかく 茂れるところ
若葉に落葉に いちょうの風あかるし
つねに誠意を つらぬく力に
正しく知りゆく よろこびあふれて
富士も晴れたり 筑波も雲なし
青春さらに 未来あり

生徒歌

作詞・作曲 遊川益次

あしたのぞめば遙かなる さあれ入日にあかねさす
ふじの高嶺にまことあり さあれ入日にあかねさす
めざめよ出でよ ふじの高嶺を望むなり
新しき土より あかねの色よ
おゝ我ら今ぞ呼ぶ 新しき血潮よ
おゝ我ら永久に呼ばん
のぼる朝日を負いて咲く
菊のしるしにほまれあり
めざめよ出でよ
新しき土より
おゝ我ら今ぞ呼ぶ
文京、文京
文京、文京



第28回「西高の夕べ」入場無料

TALK&MUSIC

西高会が地域に発信する文化事業です。
皆様のご来場をお待ちしています。

主催：一般財団法人 西高会
後援：杉並区教育委員会
東京都立西高等学校同窓会
お問合せ：03(3332)1688

日時：2024年11月23日（土・祝）午後1時30分開演
場所：杉並公会堂 大ホール（JR中央線・東京メトロ丸の内駅・荻窪駅北口から徒歩7分）
講演：水野紀子（西高25期）白鷗大学教授・東北大学名誉教授

講演テーマ：日本の家族を考える（仮）

演奏：都立西高OB吹奏楽団「愛と絆のトリコロール」

都立第三商業高等学校同窓会

会長 三浦 康二

（母校90年の沿革）

- 昭和3年（1928年） 東京府立第三商業学校として設立
- 昭和8年（1933年） 前田夕暮作詞 山田耕筰作曲の校歌が出来る
同窓会が発会式を挙げた
- 昭和17年（1942年） 同窓会報第1号を発行
- 昭和23年（1948年） 東京都立第三商業高等学校と改称
- 昭和24年（1949年） 生徒会が発足
- 昭和58年（1983年） 新校舎落成記念式典
- 平成29年（2017年） 創立90周年記念式典・祝賀会をティアラ江東にて挙行

（同窓会事務局）

〒135-0046 東京都江東区牡丹1-12-8 三商会館内
Tel & Fax : 03-3643-3392 e-Mail : info@tcsaa.jp
同窓会ホームページ <http://tcsaa.jp/>




昭和30年代～50年代の下町商店街を再現



情緒溢れる思い出の場所…
華やかな昭和の
シンボルたち…
にぎやかな路地裏…
たくさんの昭和を
肌で感じてください。

小山台高校 30回卒
台場一丁目商店街
プロデューサー兼自治会長
久保 浩



〒135-0091 東京都港区台場1-6-1
デックス東京ビーチ
Tel. 03-3599-6500 (電話ガイダンス)
<http://www.odaiba-decks.com/>

アクセス

- 電車 ゆりかもめ「お台場海浜公園」駅下車 徒歩2分
りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩5分
- お車 首都高速湾岸線「有明13号ランプ」から約4分
首都高速11号線「台場ランプ」から約3分






お知らせ

小山台会館

【社会教育事業】ランチタイムコンサートのご案内

24.03.21

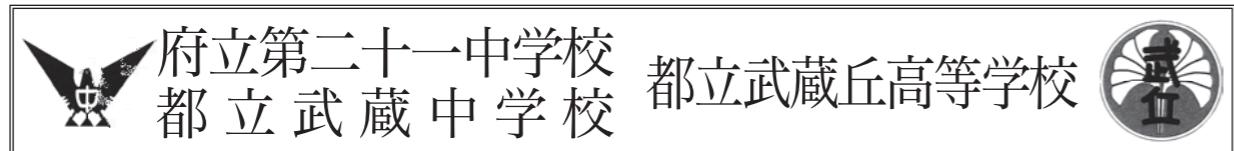
毎回たくさんのお客様にご好評をいただいておりますランチタイムコンサート。2024年度も8月、3月のお休みを除き、毎月開催予定です。4月は、昨年それぞれにご出演頂きました、ヴァイオリン吉澤萌依子さんとピアノ關奈々子さんにご出演頂き、春に相応しい響きをお聞かせいただきます。LIVE配信も行っております。(都合により中止の場合もございます。)

第三金曜日 12:00~13:00

<http://a001.koyamadai.or.jp/YT-lunchtime-concert>



会場でも、配信でも、沢山のお客様のお越しをお待ちしております。



府立第二十一中学校
都立武藏丘高等学校
都立武藏中学

三.
秋は櫻の林に憩ふ
うたへ青春 真理を追ひて
感激の日々 つねに我等に
おお 栄あり わが母校

二.
鳥のゆくへは 秩父か富士か
空を仰げば 心はをどる
高き文化を目指して進む
純情の道 自治の学舎
おお 誇あり わが母校

一.
夢多き友 つねに集る
おお 力あり わが母校

武藏丘高校校歌

作詞 勝 承夫
作曲 安部 幸明

一. 風のささやき みなぎる光
若き想を いろどるみどり

うたへ若人 武藏ヶ丘に

夢多き友 つねに集る

二.
鳥のゆくへは 秩父か富士か
空を仰げば 心はをどる
高き文化を目指して進む
純情の道 自治の学舎
おお 誇あり わが母校

三.
秋は櫻の林に憩ふ
うたへ青春 真理を追ひて
感激の日々 つねに我等に
おお 栄あり わが母校

武藏中學校校歌

作詞 手塚 升
作曲 安部 幸明

一. 千代田の城を仰ぎ見る
紫匂ふ武藏野に

修文練武道場の

名もなつかしき武藏中

二.
武藏の原を流れ逝く
多摩の川瀬の若鮎と
競へ健児ら澣瀾と
今日本は朝ぼらけ

三.
吾日本の柱ぞと
誓へ健児ら意氣高く
千古聳ゆる富士が嶺に

翼をください

作曲 村井 邦彦
編曲 西條 太貴

今 私の願いごとが
かなうならば 翼がほしい

この背中に 鳥のように
白い翼 つけてください

この大空に 翼を広げ
飛んで行きたいよ

悲しみのない 自由な空へ
翼はためかせ 行きたい
今も同じ 夢に見ていく
今 富とか名誉ならば
いらないけど 翼がほしい
子どもの時 夢みたこと
この大空に 翼をひろげ
飛んで行きたいよ
悲しみのない 自由な空へ
翼はためかせ 行きたい
翼はためかせ 行きたい



参加校公式サイト紹介

順不同

東京校歌祭
Tokyo Kouka Festival

東京校歌祭とは 東京校歌祭の歩み 参加校募集 Photoアルバム お問い合わせ

東京校歌祭は都立高校を中心に、校歌を歌い、親睦をはかるイベントです。

東京校歌祭公式サイト <https://tokyo-koukasai.net/>

府立三中・都立両国高等学校同窓会
淡交PORTAL
tankou-portal.jp

両国高校 淡交 PORTAL

紫芳会
shihokai.org

立川高校 紫芳会

篠会 東京都立第二高等女学校 東京都立竹早高等学校
takamura-kai.com

竹早高校 篠会

都立三商同窓会
tcsaa.jp

第三商業高校 都立三商同窓会

誠之会
chitose-seishikai.jp

新宿高校 朝陽同窓会

ウェブきずな 東京都立石神井高等学校同窓会
nchouyou.net

石神井高校 ウェブきずな

東京都立文京高等学校同窓会
bunkyo-ob.net

文京高校 文京高校同窓会

千歳高校 都立千歳高等学校同窓会
chitose-seishikai.jp

鶴友会
ouyukai.net

東京都立白鷗高等学校同窓会
shoyo.sblo.jp

豊多摩リリンクス
toyotama.org

東京都立西高等学校同窓会
nishi-doso.jp

白鷗高校 鶴友会

小松川高校 小松川高校同窓会

豊多摩高校 豊多摩リンクス

西高校 東京都立西高等学校同窓会

菊桜会
kohokukai.jp

江北高校 江北会

都立第一商業高等学校同窓会
ishou.jp

第一商業高校 都立第一商業高等学校同窓会

菊友会
kikuoh-kai.jp

小山台高校 菊友会

辞をつなぐ、未来へつなぐ。
都立第一商業高等学校同窓会
isshou.jp

武藏丘高校 武藏丘同窓会(無窮会)

菊友會
kikuyukai.com

墨田川高校 墨水会
bokusuikai.jp

九段中等教育学校 菊友會

武藏丘同窓会
musakou.com

学校所在地一覧

校名	住所	電話番号	FAX番号	最寄り駅
都立立川高等学校	立川市錦町 2-13-5	042-524-8195	042-527-9906	立川
都立両国高等学校	墨田区江東橋 1-7-14	03-3631-1815	03-3846-6682	錦糸町
都立戸山高等学校	新宿区戸山 3-19-1	03-3202-4301	03-3204-1045	高田馬場・西早稲田
都立新宿高等学校	新宿区内藤町 11-4	03-3354-7411	03-3225-4402	新宿・新宿三丁目
都立墨田川高等学校	墨田区東向島 3-34-14	03-3611-2125	03-3612-6123	東向島・京成曳舟
都立小山台高等学校	品川区小山 3-3-32	03-3714-8155	03-3714-8163	武蔵小山
都立西高等学校	杉並区宮前 4-21-32	03-3333-7771	03-3247-1340	久我山
都立江北高等学校	足立区西綾瀬 4-14-30	03-3880-3411	03-3880-6755	綾瀬・青井・五反野
都立千歳高等学校 (平成14年閉校現・都立芦花高校)	世田谷区粕谷 3-8-1	03-5315-3322	—	千歳烏山
都立豊多摩高等学校	杉並区成田西 2-6-18	03-3393-1331	03-3398-3746	浜田山
都立石神井高等学校	練馬区関町北 4-32-48	03-3929-0831	03-5991-0747	武蔵関
千代田区立九段中等教育学校	千代田区九段北 2-2-1	03-3263-7190	03-3288-3499	九段下・飯田橋
都立文京高等学校	豊島区西巣鴨 1-1-5	03-3910-8231	03-3915-9886	大塚・巣鴨新田
都立第一商業高等学校	渋谷区鉢山町 8-1	03-3463-2606	03-3463-2050	代官山
都立第三商業高等学校	江東区越中島 3-3-1	03-3641-0380	03-3641-0879	門前仲町・越中島
都立小松川高等学校	江戸川区平井 1-27-10	03-3685-1010	03-3636-1073	平井
都立武蔵丘高等学校	中野区上鷺宮 2-14-1	03-3999-9308	03-3926-9012	鷺ノ宮・富士見台
都立竹早高等学校	文京区小石川 4-2-1	03-3811-6961	03-3811-3565	後楽園・茗荷谷・春日
都立白鷗高等学校	台東区元浅草 1-6-22	03-3843-5678	03-3841-6925	上野・新御徒町・稻荷町
都立足立西高等学校	足立区江北 5-7-1	03-3898-7020	03-3898-3690	西新井駅・舎人ライナ・江北駅

同窓会所在地一覧

校名	同窓会名	住所	電話番号	FAX番号	メールアドレス	HP
都立立川高等学校	一般社団法人紫芳会	学校に同じ	042-522-9061	042-522-9065	shihokai@sk9.so-net.ne.jp	有
都立両国高等学校	淡交会	学校に同じ	03-5600-8472	03-5600-8473	tankou02@bz04.plala.or.jp	有
都立戸山高等学校	城北会	169-8691 新宿北郵便局私書箱 2025	03-3202-3349	03-3202-3740	johoku@toyamaob.org	有
都立新宿高等学校	朝陽同窓会	学校に同じ	03-5368-8366	03-5368-8366	jchouyou@estate.ocn.ne.jp	有
都立墨田川高等学校	墨水会	学校に同じ			nanakou@bokusukai.jp	有
都立小山台高等学校	菊桜会	142-0061 品川区小山4-11-12 小山台会館内	03-5725-7828	03-5725-7828	info_kikuoh-kai@freemail.com	有
都立西高等学校	都立西高等学校同窓会	168-0081 杉並区宮前4-21-23 西高会館内	03-3247-0765	03-3941-5241	info@nishi-doso.jp	有
都立江北高等学校	江北会	学校に同じ	090-8011-9131	—	staff@kohokukai.jp	有
都立千歳高等学校	誠之会	154-0022 世田谷区梅丘1-16-5 玉田様気付	03-3420-4478	—	info@chitose-seishikai.jp	有
都立豊多摩高等学校	豊多摩同窓会	学校に同じ	—	03-3398-3746	jimu@toyotama.org	有
都立石神井高等学校	都立石神井高等学校同窓会	164-0002 中野区上高田1-14-7 (せいどう内)	03-3319-1123	03-3319-1123	shakujii.kizuna@gmail.com	有
千代田区立九段中等教育学校	菊友会	学校に同じ	03-3263-2448	03-3263-1033	info@kikuyukai.com	有
都立文京高等学校	都立文京高等学校同窓会	学校に同じ				有
都立第一商業高等学校	一商鉢山会	150-0031 渋谷区桜丘町29-35 ヴィラ桜ヶ丘605号	03-6455-3731	03-6455-3723	info@isshou.jp	有
都立第三商業高等学校	都立第三商業高等学校同窓会	130-0002 墨田区業平1-7-5	03-3643-3392	03-3623-1859	s_teru_72@yahoo.co.jp	有
都立小松川高等学校	小松川高等学校同窓会	学校に同じ	03-3684-5650	03-3683-2606	shoyo.jimu@gmail.com	有
都立武蔵丘高等学校	武蔵丘同窓会(無窮会)	学校に同じ	03-3926-6834	03-3926-6834	musako@jade.dti.ne.jp	有
都立竹早高等学校	篁会	学校に同じ	—	—	takamurakai@gmail.com	有
都立白鷗高等学校	一般社団法人鷗友会	学校に同じ	03-3844-4284	03-3844-4284	info@ouyukai.net	有
都立足立西高等学校	桜水会	足立区江北2-36-1	090-9823-0588	—		—



校歌

作詞 幸田 露伴
作曲 弘田竜太郎

一、隅田の川は吾師也
日夜をせかずおこたらず
流れてやまぬ何十里
汪々として海に入る

見よ、雲やぶる天つ日は
墨田の川に照り映えて
我らの胸に輝けり
力のかぎり 戰わん

命のかぎり 努めなん
いざ立てふるえ七高健児
ああ百鍊の技さえて
今ぞ示さん その成果

聞け、たくましき若人の

血潮はもえて 焰成し
我らの胸に 高鳴れり
我らの腕に 高鳴れり
命のかぎり 努めなん
いざ立てふるえ七高健児

七高応援歌

作詞 中島 鑿
作曲 加藤たかし

命のかぎり 戰わん
力のかぎり 戰わん
命のかぎり 戰わん
命のかぎり 戰わん

命のかぎり 戰わん
力のかぎり 戰わん
命のかぎり 戰わん
命のかぎり 戰わん
いざ立てふるえ七高健児

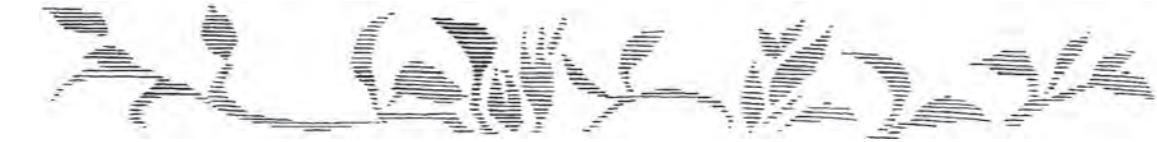
聞け、たくましき若人の

血潮はもえて 焰成し

我らの胸に 高鳴れり

我らの腕に 高鳴れり

命のかぎり 戰わん



府立第十三中学校 都立豊多摩高等学校

校歌

豊多摩の健児我等

作詞 金田一京助
作曲 山田 耕作
あしたには 直射す 朝日
ゆふべには 日翳る 夕日
豊多摩の 丘べに 高く
聳えたつ 我等が 母校
武藏野の 古今の 跡は
行く水の 尽きせぬ 教へ
富士の嶺の 真澄みの 影は
とこしなへ かはらぬ 訓し
新しき 時代に 覚めて
打ち集ふ 学びの 友は
若き日の 希望も 若く
友垣の 結びぞ 固き
尋ね入る 真理の 林
ふみ分くる 文化の 園生
遠くとも のどかに 潔く
手をとりて 行かまし いざや
豊多摩の健児我ら
熱血はたぎり肉踊る
いざよき敵ぞ戦い抜かん
いざ行け進め奮い立て
豊多摩の健児我ら
天をつく勝どきあげよ
勝利の女神我にくみせり
いざ行け進め奮い立て



仰げば尊し

作詞者 不詳

あおげば とうとし わが師の恩
教の庭にも はや いくとせ
おもえは いと疾し このとし月
今こそ わかれめ いざさらば
互にむつみし 日ごろの恩
わかるる後にも やよ わするな
身をたて 名をあげ やよ はげめよ
いまこそ わかれめ いざさらば
朝夕 なれにし まなびの窓
ほたるのもし火 つむ白雪
わするる まぞなき ゆくとし月
今こそ わかれめ いざさらば

(明治十七年「小学唱歌集」第三編)

(付則) 平成七年七月二十六日 執行された。
平成十二年八月四日 一部改定され執行された。
平成十五年五月三十日 一部改定され執行された。
平成十九年四月二十日 一部改定され執行された。
令和五年四月三十日 一部改定され執行された。

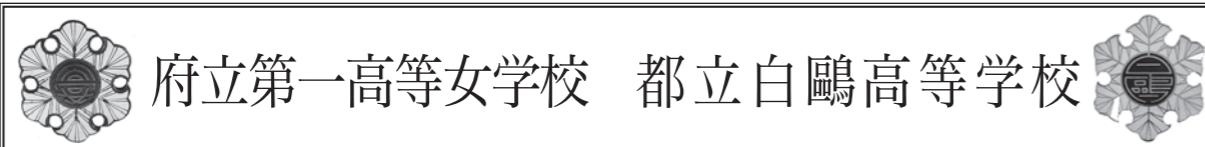
東京校歌振興会規約

第一条(名称) 本会は、東京校歌振興会と称する。
第二条(事務所) 本会は、事務所を東京都杉並区久我山四丁目十二番十号におく。
第三条(会員) 本会は、東京都内の高等学校等の校歌・学生歌等の伝承および振興をは
とし、組織する。
第四条(目的) 本会は、東京都内の高等学校等の校歌・学生歌等の伝承および振興をは
かり、併せて会員相互の親睦を増進することを期する。
第五条(事業) 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

第六条(役員)
1 東京校歌祭の開催
2 その他の必要と認めた事業
3 会員一名、副会長若干名、監事若干名
4 委員長、副委員長は、実行委員の互選とする。
5 実行委員会は、各会員校より適任者を選任する。
6 実行委員会に、実行委員長一名、実行副委員長若干名をおく。

第七条(実行委員) 本会に、実行委員会を設ける。実行委員会は本会の事業を実行する。
8 実行委員は各会員校より適任者を選任する。
9 本会の会議は、総会及び実行委員会とする。
10 第十二条(経理) 本会の経費は、必要に応じ総会の決議を経て会員が負担する。
11 第十三条(収支) 本会は、必要に応じ、名譽会長・参与・顧問等をおくことができる。
12 第十四条(変更) 本規約の変更は、総会において出席校の三分の二以上の賛成でこれを決
める。
13 成で決める。

沿革	
昭和15年	府立十三中として府立一中内に設立
17年	杉並区浜田山に新校舎落成移転
23年	東京都立第十三新制高等学校と改称
24年	東京都立豊多摩高等学校と改称
25年	創立十周年記念式典に校歌制定
31年	応援歌「豊多摩の健児我等」制定



府立第一高等女学校 都立白鷗高等学校

作詞 東昌鉄真呂
作曲 小山作之助

都の中に いちはやく
ひらけそめつる 我が校の
ほまれを高く 世にあげて
めでたく匂へ 女郎花
あはれ朝夕 たゆみなく
まなびの庭に 集ひ来て

み雪に霜に 色變へぬ
松の節操を ためしにて
徳をも磨き 智をも増し
天地に恥じぬ 身とはなれ
あはれ朝夕 たゆみなく
學びの庭に 集ひ来て

忍が岡は ほど近し
憂きもつらきも 忍べとや
隅田の川も 遠からず
心を清く 有てとや
あはれ朝夕 ながめつ
學びの道の 友とせむ

府立第一高等女学校校歌

作詞 東昌鉄真呂
作曲 小山作之助

隅田川 かもめはむれて
たのしき門や 清けきわが学び舎
ほまれあり 誇りはたかし
いそしみて いよよはげみて
ああ われら 慕ひゆくなれ
香ぐはしき 智慧の果をこそ

若松の みさをのみどり
気高き園や ゆかしき我が友どち
みやびあり 思ひはふかし
愛しみて いよよむつみて
ああ われら 祈りゆくなれ
青空の やすらひをこそ

たゆみなき 時計の塔も
うれしきものぞ さやけきわが標べ
ちかひあり 歩みはつよし
つづましく いよよ ただしく
ああ われら ひらきゆくなれ
美はしき 現し世をこそ

本校は、明治 22 年に設立された東京府高等女学校を母体とする、都内初の公立中高一貫教育校です。
本校の教育理念「開拓精神」のもと、

- ・自らの意志と努力をもって自己を開拓していく精神
- ・いかなる苦難にも耐えて自己の人生を切り開いていく力
- ・社会の進展に寄与する旺盛な意欲を持つ、社会でリーダーとして活躍できる、チャレンジ精神溢れる生徒の育成を目指しています。

神精拓開



第一東京市立中学校 都立九段高等学校

作詞 与謝野(鉄幹)
作曲 山田耕筰

一、都の中央 九段の上に
堂々高きを占めて
われらはここに学ぶ
*第一東京市立中学
われらはここに学ぶ
いざいざ われらの力
強きをためし 共にはげまん
われらの 行くかた如何に
けわしき道のありとも
いよいよ 高きを越えて進まん

二、東に見渡す青海長く
西には靈峰富士の
白雪遠く光り
われらはここに学ぶ
いざいざ われらの誠
清きは 富士の雪にまさり
静かに想いを深めて
みずから守る心は
洋々 底なき海に比べん

※校歌は、創立時から一番の*校名を代え継承しています。
三番は現在歌われていないので割愛しています。
作詞者・与謝野寛はベンヌーム鉄幹の本名です。
(作詞時は鉄幹を庵号)

至大莊歌

作詞・作曲 山田直志(中学2回)
作詞・作曲 小森昭宏(高校2回)

波どうどうと磯を打ち
さぎりは薄れ守谷なる
山の頂き晴るるとき
陽はくれないに輝きて
沖の彼方にのぼるなり

二、東に見渡す青海長く
西には靈峰富士の
白雪遠く光り
われらはここに学ぶ
いざいざ われらの誠
清きは 富士の雪にまさり
静かに想いを深めて
みずから守る心は
洋々 底なき海に比べん

我ら第一健男女
我ら第一健男女

タベのしま大海の
沖のかたよりひろがりて
我らが寮に迫るとき
灯あかきそがもとに
いそしむ我らを君見ずや

十六才の 真夏の海
ただひたすら 至大至剛を めざし
泳ぎに 泳いだ 若い奇跡
夕焼けに 涙して
われらは日ましに 強くなつていた

希望に燃えて雄雄し立つ
希望に燃えて雄雄し立つ
ここ房総の一角に
都の塵を遠ざけて
睦みつどえる若人は
われらは進む 至大莊と共に

九段想えれば 夢は 遠く走る
九段想えれば 夢は 遠く走る
青春の海に 洗われた純粹な心は
ずっと変わらないだろう
われらは生きる 至大莊と共に

太陽に 励まされ
われらはいつしか 強くなつていた
青春の海に 洗われた純粹な心は
ずっと変わらないだろう
われらは進む 至大莊と共に



昭和2年12月 九段の上に堂々落成。東洋一と賞された校舎



九段生が鍛えられる「至大莊」での遠泳

府立第二中学校 都立立川高等学校



府立第二中学校 都立立川高等学校

府立第一商業学校 都立第一商業高等学校



都立第一商業高等学校校歌

一商学生歌「ああ一商」

作詞 金井 浩（第三代校長）
作曲 廣岡 九一（母校音楽教師）
編曲 早川 守（45期）

作詞 葦原 茂（40期）
作曲 廣岡 九一（恩師）
編曲 早川 守（45期）

「都の空」

都の空に咲き匂ふ 花の王者にあやかりて
希望に燃ゆる我が商士 真澄の鏡かざしつつ
励む我等の心意気 磨き鍛えんもろともに

烈日強く鉢山の 森の緑に照り返す
真夏の空に雲もなく 木陰涼しき学園に
修行をこうむる若人の 団練たのもし師と友と

秋玲瓏の気は満ちて 西天高くそぞり立つ
富士の靈峰仰ぐ時 平和の道を築かんと
理想の駒に鞭うちて いざ駆け行かん明けの野に

木枯し寒く霜こおり 明け行く空に颯爽と
清明の旗を高く揚げ 生きとし生ける人々の
永遠の栄え念じつつ 学びの道にいそしまん



平成五年竣工の現校舎

都立立川高校校歌（府立二中校歌）

作詞 前田 恒樹
作詞指導 土井 晚翠
作曲 南 能衛

三、紫匂ふ武藏野の

一、玲瓏の水百萬の
民の命をつなぐ源
流れて息まぬ多摩川の
清きあしたの面に見よ
掬ぶに盡きざる無言の訓

二、芙蓉の姿東海の
邦のしづめと立てる山
雲に聳ゆる富士の峰の
夕べ嘸ぶく影にみよ
藏めて盡きざる有形の教え

（昭和二十五年九月改正）



都立立川高校（府立二中）第一校歌

作詞 村野 四郎（中学十六期）
作曲 高田 三郎（元本校講師）

一、ああ武藏野の

多摩は流れて 幾世紀
ただひとすぢに つらぬきて
遠き歴史のかげ負ひて
(健児幾百一齋に)

共にむつしむわがつどひ
(共に睦しむ學の屋)
歩みはとはに新しき
(第二中學われにより)

（はまれあれよといそしまむ）
見よかの高山教ぞ高き

（昭和二十五年九月改正）